

平成14年度顕彰者

(表彰式：平成14年9月8日)

団体（代表）・個人名	活動分野	活動期間	活動内容概要
天神川を考える会 (代表 清水裕)	環境保全活動	通算9年1ヶ月	「人と自然の調和のとれたまちづくり」をスローガンに活動する団体。長良地区を流れる天神川は自然豊かな小河川であったが、洪水のため9年前から三面コンクリートによる河川改修が行われていた。同団体が、子どもたちに川と生き物と触れ合う環境を残したいと地元へ呼びかけ、行政に要望し、二面コンクリートにするのと同時に、ホテルの幼虫やカワニナを放流、清掃活動を行い、ホテルの舞う川を取り戻すことができた。本市の自然環境向上に貢献している。
日本野鳥の会 岐阜県支部 (代表 大塚之徳)	環境保全活動	通算34年10ヶ月	自然と人間が共存する社会を目指し、野鳥や自然のふれあいから自然を守るための活動をする団体。岐阜市周辺の鳥類の生息状況調査や金華山水道山で市民とのタカの渡り状況調査、野鳥の写真展、環境行事での市民啓発活動など、幅広く市民の環境意識向上に貢献している。
岐阜・まちづくりの会 (代表 上野義孝)	環境保全活動	通算8年11ヶ月	岐阜市の自然を守ることを目的として活動をする団体。金華山東部の達目洞は、絶滅危惧種「ヒメコウホネ（スイレン科植物）」の生息地であったが、県道環状線の高架橋がかかることから、同会が地元にはたらきかけ保護育成に乗り出した。小川の土手に木道を作るほか、最近では県・市・地元自治会等を交えて、「達目洞自然の会」を立ち上げ、生息地一帯の将来像を模索している。本市の自然環境向上に貢献している。
加納はたる育成クラブ (代表 藤根伊三郎)	環境保全活動	通算7年5ヶ月	当初、岐阜南ロータリークラブの清水川をホテルの舞う川にしたいという要請に地元自治会が応える形でできた団体、加納小学校に空き教室を借りるなどして、ホテルの幼虫やカワニナ育成の環境を整備し、毎年子どもたちと放流や清掃を行っている。特に、6月に行う加納ホテル祭りは、地元で認知されており、ホテルの舞いを観察するために多くの市民が訪れる。都市部での自然環境向上に貢献している。
イオン株式会社ジャスコ岐阜店 (店長 片山雅夫)	ごみ減量活動 環境教育活動	通算14年	市内最大手の小売店であるが、地域の企業市民として地域環境貢献活動に取り組んでいる。環境への取り組みは多種にわたり、店頭での牛乳パックや食品トレイの回収、買い物袋持参運動、マイバスケット運動など、ごみ減量・省資源・リサイクルにISO14001の目標掲げ徹底して取り組んでいる。また、地域の人たちの環境意識の向上のため、学校の見学を積極的に受け入れ、こどもエコクラブを発足するなど、子どもの環境教育にも取り組んでいる。本市のごみ減量や環境教育に貢献している。
岐阜市立方県小学校 (校長 浦崎孝昭)	環境教育活動	通算7年	平成7年度に環境省がこどもエコクラブを提唱して以来、毎年4年生がこどもエコクラブとして活動している。恵まれた自然環境を活かした環境教育に取り組み、伊自良川での水生生物調査は、その継続性から水生生物マップに活用されている。子どもたちに岐阜の自然の素晴らしさを教え、心豊かな子どもの育成を行う点で、本市の環境教育に貢献している。
岐阜西団地自治会 (自治会長 渡利正彦)	ごみ減量活動	通算6年1ヶ月	地元自治会約100世帯が食品トレイの回収と再利用に取り組んでいる。市内にはこのような市民による自発的な取り組みはなく、先進的な事例である。なお、回収したトレイは事業者へ引き取ってもらい、リサイクルしている。本市のごみ減量に貢献している。

平成15年度顕彰者

(表彰式：平成15年11月9日)

団体（代表）・個人名	活動分野	活動期間	活動内容概要
NPO長良川環境レンジャー (理事長 藤崎義治)	環境保全活動	通算5年4ヶ月	長良川の川原における、ごみの持ち帰り等の啓発、清掃活動、長良川流域全体をきれいにする調査研究活動のほか、地域の子もたちと一緒に活動することで、環境意識を高める活動を行う。
生活協同組合コープ 岐阜岐阜北支所 (支所長 大坪光樹)	ごみ減量活動 環境教育活動	通算12年7ヶ月	事業活動全体の中で、牛乳パック、食品トレイ、たまごパック、商品案内などの回収を十数年続けており、また、レジ袋を有料化して買い物袋持参運動を推進し、持参率は90%となっている。会員数が市内で3万世帯を超えており、市民の環境活動を高めている。ほかにも、子どもたちに水生生物調査などの環境教育活動を行っている。
岐阜市立長森北小学校 (校長 大塚頼明)	環境教育活動	通算8年11ヶ月	平成7年度から、小学3年生から種を植えて木を育て、6年生で植樹する活動を行い、のべ488人の子どもたちが参加している。手間のかかる継続するのが難しい地道な活動であるが、地域の老人クラブや児童の親と一緒に活動し、地域に活動を広げている。
岐阜市立長良西小学校 (校長 林五十男)	環境教育活動	通算14年9ヶ月	長良川、金華山に近い条件を活かし、環境教育活動を「長良川活動」「金華山活動」として行っている。特に昨年は、長良川環境レンジャーと授業と一緒に活動した子どもたちが、自主的にボランティアで「k i d' s レンジャー」としてレンジャーと一緒に活動するほか、「長良川の歌」を作って、児童の自主性を伸ばしている。
(社)岐阜青年会議所 (理事長 伏屋勉)	環境教育活動	通算13年	平成2年から、豊かな自然にふれあい子どもたちの環境意識を高めるために、カワグラウオウチンクを毎年実施し、調査結果を県に報告している。また、毎年の事業計画の中で、「学校ピオニアづくり」や、宿泊による「自然体験活動」、大学生などを対象とした「青年環境塾」を開催し、地域の環境教育を推進している。

平成16年度顕彰者

(表彰式：平成16年9月25日)

団体（代表）・個人名	活動分野	活動期間	活動内容概要
(株) 岐阜新聞 事務局・販売局 (事務局長 小畑久幸)	環境保全活動 環境教育活動	通算31年5ヶ月	「長良川を美しくしよう運動」の提唱者として、花火大会後の河川敷清掃などを自らも行うかたわら、市民やボランティアに参加を呼びかけるなど、長良川を通じて市民に対する美化意識や環境意識の高揚に寄与してきた。また、平成14年には、岐阜・各務原市境の山林火災跡地において、失われた緑を取り戻そうと、ボランティアとともに植樹する「緑の山再生プロジェクト」を実施した。
竹文化振興協会 岐阜支部 (支部長 松本正信)	ごみ減量活動 環境教育活動	通算19年10ヶ月	長良川河畔の竹林広場において、地元自治会や中学生ボランティアと竹林整備を行い、「長良川を美しくしよう運動」への参加を通じ環境保全活動を行うとともに、伐採した竹を竹炭などに再利用することで、循環型社会の普及にも努めている。また、毎年各地の小中学校に竹を寄贈する「竹一株植え付け運動」に取り組み、竹細工講習会や「竹林祭り」などを開催しながら、竹文化の振興に貢献している。
ボランティア「風と土の会」 (代表 船渡東)	環境保全活動 環境教育活動	通算8年4ヶ月	長良川河畔の竹林広場で、竹林整備活動を行うとともに、小中学生を対象とした竹細工教室や「竹の子まつり」、「竹林広場まつり」の開催を通じて環境教育を実践している。また、伐採した竹を竹炭・竹酢へと再資源化することで、循環型社会づくりに貢献している。平成14年、15年には長良川右岸道路を歩行者天国とする「夕暮れフェスタ」において、ろうそくを入れた竹筒の提供を行った。
岐阜市市立京町小学校 (校長 森谷連)	環境教育活動	通算8年6ヶ月	市の「種からの森づくり」に積極的に参加し、児童の環境教育と都市の緑化を継続的に推進している。また、体験型の環境学習にも積極的に取り組み、こどもエコクラブの活動のほか、米作り、花作りなどの栽培活動、京町校区を美しくする清掃活動、町に対する理解や関心を深めるため、保護者とともに「町たんけん」などの活動も行っている。
岐阜市立本郷小学校 (校長 多治見知行)	環境教育活動	通算11年6ヶ月	本郷町のケヤキ並木を中心とした地域への愛着を深める環境教育が行われており、「わくわく祭り」や写生大会、さらにはグリーン作戦など地元の自治会とともに並木の保全活動に取り組んでいる。またこのケヤキを後世に残すため、自治会の方々が枝分けしたものを子どもたちが育て、卒業記念に近くの公園に植樹するなど緑化の推進にも役立っている。

平成17年度顕彰者

(表彰式：平成17年10月29日)

団体（代表）・個人名	活動分野	活動期間	活動内容概要
岐阜伊奈波ライオンズクラブ (会長 黒田隆)	環境保全活動	通算30年3ヶ月	結成以来、市内各所に桜の苗木を植樹し、その整備や辺りの清掃活動をしている。また、平成10年には、長良川環境レンジャー結成を支援し、それ以後長良川清掃活動を毎年行っている。平成17年9月には「長良川クリーンウォーク」を開催し、市民ともに長良川の美しさを体験しながら清掃活動を行った。
岐阜市立加納小学校 (校長 堀学)	環境教育活動	通算10年6ヶ月	市の「種からの森づくり事業」に積極的に参加し、環境教育と地域の緑化を推進している。また、清水川でホタル保全活動をしている加納ホタル育成クラブの協力のもと、ホタルを通して地域の環境について学んでいる。構内では、分別資源回収箱を設け、日常からリサイクルの意識付けを行っている。
岐阜市立長森西小学校 (校長 高田雅明)	環境教育活動	通算9年6ヶ月	4年生の総合学習の中で、ごみ問題について取り組んでいる。地域のごみ清掃をしたり、ポスターやチラシで地域の人にリサイクルの重要性を呼びかけている。また、緑の重要性を認識し、生涯を通して自然と関わりあうことを目的に、市の「種からの森づくり事業」に参加し、継続的に活動している。
大岐阜ビル株式会社 (代表取締役 大松利幸)	その他の活動	平成17年5月建設	大岐阜ビル建設に際し、外壁には熱損失防止が施され、空調設備や照明設備は省エネルギー化が図られている。ポケットパークを設けたり、西壁面や屋上を緑化し、環境にも人にも優しい建物となっている。また、今後各テナントに「環境担当者」の設置を依頼し、全館で総合的な環境配慮を推進する計画である。

平成18年度顕彰者

(表彰式：平成18年10月29日)

団体（代表）・個人名	活動分野	活動期間	活動内容概要
岐阜信用金庫 (理事長 小川二郎)	環境保全活動	通算11年5ヶ月	毎年6月の第2土曜日に、地域貢献活動として「クリーン作戦（清掃活動）」を実施。信用金庫職員とお客様約1,500人で、長良川、金華山、岐阜公園他の清掃活動を行っている。その他にも、「クリーンタイムIN金華山」や「緑の山再生プロジェクト」などにも積極的に参加し、環境保全に大きく貢献している。
なるせ りょうじ 成瀬 亮司	環境保全活動 環境教育活動	通算14年	長きにわたり、教職をとる傍ら、植物分類・生態の調査研究と、自然環境教育、環境保全活動の先頭に立ち尽力した。平成4年に連目洞において絶滅危惧植物のヒメコウホネを発見。岐阜環境線建設計画により、ヒメコウホネ群落が消滅の危機に直面した際には、行政と協働し、連目洞の自然と環状線建設が両立する計画を導き出した。その後、市民、事業者、行政で構成する「連目洞自然の会」を結成し、代表を務めた。氏の取り組みは、市民、団体、事業者、行政の新たな環境活動のあり方を示し、また、新たな環境活動の担い手を輩出するきっかけともなった。
岐阜市立常盤小学校 (校長 熊崎文男)	環境教育活動	通算6年7ヶ月	平成11年度に総合学習が導入されたのに伴い、「地域に学ぶ総合学習」として、主に4年生を対象に環境教育を行っている。平成14年からは、「戸石川水辺の楽校」と称して、生き物調べやごみ拾いなどの体験型の環境学習を推進している。学校版ミニ環境ISO14001に認定され、給食で出た牛乳のパックを、児童がリサイクルに回すように活動している。このほか、岐阜県が行う環境活動にも参加するなど、環境学習を継続的にしている。

平成19年度顕彰者

(表彰式：平成19年10月28日)

団体名（個人名）	活動分野	活動期間	活動内容概要
岐阜市立三輪中学校	環境教育活動	通算13年5ヶ月	生徒会が中心となり、「三輪ボランティアサービス（MVS）」活動として、地域清掃や里山作りなどの環境保全活動を行っている。地域清掃では、毎週週初めの朝、地域のごみを拾いながら登校し、学校で分別作業を行っている。また、迎春大作戦と題し、冬休み前に地域の施設等の清掃活動を行っている。3年前からは、ファミリーパークで里山作りを行い、切り出した木の一部を薪にし、薪ストーブに利用して循環型環境保全を体験的に学習している。
じゅうじかい 十時会	環境保全活動	通算7年9ヶ月	金華山を愛する登山愛好家により結成され、岐阜森林管理署の「森林ボランティア活動による森林パトロール員」第1号として登録されている。金華山の七曲り登山道を中心に、年間約200日のパトロールを行い、清掃、登山者へのマナー啓発、危険箇所の点検等を実施している。パトロールで確認された危険箇所は補修整備等を行い、登山者の安全確保に寄与している。
岐阜トヨペット株式会社	環境保全活動	通算32年	全国のトヨペット店で「トヨペットふれあいグリーンキャンペーン」を展開している。岐阜トヨペットは、毎年岐阜市に苗木を寄贈している。また、岐阜トヨペット全社一斉ボランティア活動として、毎月第2水曜日に会社ぐるみで路上の清掃活動を行っている。ISO14001（環境マネジメントシステム）の認証取得に積極的に取り組んでいる。岐阜県下の自動車販売店では初の取得となった。

平成20年度顕彰者

(表彰式：平成20年10月26日)

団体（代表）・個人名	活動分野	活動期間	活動内容概要
岐阜駅西地区市街地再開発組合 「岐阜シティアワー43」 (理事長 大橋 清隆)	研究開発活動	平成19年10月13日竣工	(1)岐阜市初の1,000㎡を超える屋上緑化による建物内部への熱負荷の低減 (2)アトリウムを熱緩衝帯として侵入熱負荷を低減するとともに、自然光を積極的に導入 (3)夜間蓄熱空調システム採用による電力の平準化 (4)外気の空調負荷を抑える全熱交換器の採用 (5)高効率型照明器具採用による電力使用量の削減 (6)節水型衛生機器採用による水使用量の削減 (7)空調熱源機器の新冷媒ガス(HFC)採用による地球温暖化、オゾン層破壊防止 (8)個別分散給湯システム採用による熱損失の低減 (9)岐阜市初の全住宅(351戸)にディスポーザーシステム採用により生ごみ排出量の減量化
岐阜市立長森南中学校 (校長 加藤 貞治)	環境教育活動	10年1ヶ月	・長年、環境カウンセラーとともに、環境教育に力を入れている・子どもエコクラブの加入数は、市内中学校内で、一番多い ・まるごと環境フェア内「アースレンジャー子ども会議」に多数参加し、他校生徒と、意見交換し、情報発信を行っている ・身近の境川の水質検査については、長年実施しているため、地域の関心も高い ・「夢生き生き文化フェスティバル」に環境ブースを設け、地域にも情報発信を行っている ・生徒会が中心となって、毎月一週間連続して実施する「リサイクル活動」は、地域の関心も高く地元の参加率が高い
NPOエヌエネット (理事長 北川 健司)	環境教育活動	7年	・地域の特色を生かした「子ども自然体験活動」を中心に活動している ・岐阜市内で、13名が指導者として活動している ・「金華山・長良川の生き物と遊ぼう」を年8回開催し、市民活動の広がりを見せている ・小学校の事前講座を開催するなど、一団体としての活動にとどまらず、様々な団体と共同事業で取り組む活動もしている ・平成19年に、自然活動を志す人や組織の幅広い連携により、子ども達の自然体験活動を支援する環境整備に努めていく活動が、岐阜市内では例がなく、先駆的として評価され、「岐阜市環境保全活動団体」に承認された
環境市民ネットワークぎふ (代表 柴田 甫彦)	環境教育活動	9年3ヶ月	・月間の6月に毎年「環境市民の集い」を開催し、会員団体の活動を市民に広くPRするとともに、活動体験を提供している。平成17年からは、まるごと環境フェアにて、「アースレンジャー子ども会議」を開催し、環境活動に取り組む子ども同士の意見交換や活動発表を行い、子どもたちからのメッセージを発信する場を提供している。 ・平成19年からは、「子ども会議」を卒業した高校生や大学生が中心となって企画・運営する「学生環境会議」の開催を支援している。ネットワークメンバーをはじめ、大学教授や行政職員等と学生との意見交換の場を設け、学生たちにより幅広い視野で「環境」を考えるきっかけづくりに取り組んでいる。

平成21年度顕彰者

(表彰式：平成21年11月15日)

団体（代表）・個人名	活動分野	活動期間	活動内容概要
(株)大垣共立銀行 則武支店	研究開発活動	平成20年12月建築	壁面に「LEDライト」を設置。また「ソーラーナイト」「光触媒」「室内の仕上げ面を淡色にする」等太陽光を上手く活用した環境配慮型の建物を建設した。その他、電力アテンド監視装置を設置して省エネ活動に努めるなど、継続的に環境を意識した活動も行っている。
小林 由紀子	環境教育活動	16年6ヶ月	環境教育活動を長森南地区で行い、学校・自治会・公民館・地元団体が個別で実施していた環境活動を組み合わせることで、地域全体で取り組む体制を作り上げた。また、学校等で使用する「環境教育マニュアル作り」等による人材育成にも努めており、単発ではない継続的な環境教育を実施している。
達目洞自然の会	環境保全活動 環境教育活動	7年5ヶ月	岐阜市貴重野生動植物種であるヒメコウホネの保全にとどまらず、行政や他の団体と協働しながら、達目洞の里山環境・景観・文化の統合的な保全活動に努めた。また、自然観察会や出前講座などを実施し、子ども達に自然と触れ合う場を提供している。

平成22年度顕彰者

(表彰式：平成22年11月21日)

団体名(個人名)	活動分野	活動期間	対象とした活動の内容(事由)
株式会社岐阜グランドホテル (代表取締役社長 伊藤 富三)	研究開発活動	7年6ヶ月	・ESCO事業を市内で初めて導入し、事業所における省エネ活動を先導している。 ・本年度は、屋上緑化を施工し、館内照明のLED化を計画している。 ・地産池消の食材利用に取り組むとともに、生ごみ処理機を設置し、食材残渣を堆肥化し、契約農家で活用する仕組みをつくっている。
太郎丸団地生ごみ堆肥化推進活動部会 (代表理事 宮嶋 昭二)	ごみ減量活動	11年10ヶ月	・生ごみ堆肥化推進事業をはじめ自治会と連携したごみ減量活動に努めている。 ・ごみの分別についてルール違反が発生した場合は回覧板等を用いて、自治会内に周知する仕組みをつくっている。 ・地域の清掃活動を通し、地域の環境を大切にす若い人材育成に努めている。
特定非営利活動法人ぎふし森守クラブ (代表 神山 輝男)	環境保全活動	8年6ヶ月	・「ながら川ふれあいの森」において森林保全活動を行っている。 ・森林教室を通じて、親子連れや学校、企業など広く市民に自然環境保全の重要性を啓発し、年々、会員を増やしている。 ・「どんぐりコマまわし大会」は、公式ルールを設けるなど、ユニークな活動が見られる。
石田 明靖(故人)	環境保全活動	9年6ヶ月	・教育者としての豊富な見識を生かし、岐阜市内で現在活動している「金華山サポーターズ」や「遠目洞自然の会」、「ぎふし森守クラブ」といった環境保全団体の設立、助言に尽力した。 ・平成18年度に策定した「岐阜市自然ふれあい地域ビジョン」への助言など、環境教育活動、行政、市民との協働にも積極的に取り組み、その活動は今も市内の環境保全団体等に引き継がれている。
岐阜市立芥見東小学校 (校長 佐藤 俊一)	環境教育活動	29年6ヶ月	・地域環境を題材にした環境学習を地域住民と一緒に取り組んでいる。 ・地域のホタル保存会と協力し、地域のホタルの生息環境の保全に取り組んでいる。 ・ホタルの住処でもある地元の山田川の清掃を、卒業生が通学する藍川東中学校と合同で行っている。 ・「種からの森づくり事業」や「緑のカーテンづくり」に取り組む等様々な環境学習を企画し、積極的に児童が参加している。

平成23年度顕彰者

(表彰式：平成23年10月30日)

団体名(個人名)	活動分野	活動期間	対象とした活動の内容(事由)
硯石の自然を愛する会 (会長 野々目 徳弘)	環境保全活動	9年4ヶ月	・大洞地区硯石池周辺の里山を拠点に、里山環境の再生や絶滅危惧植物の保護に取り組むなど、環境保全活動を積極的に行っている。 ・大洞の自然の素晴らしさ、大切さを知ってもらうため、地域の自治会や学校で講演会を開催するなど、啓発活動にも力を入れている。
栗本 満	環境教育活動	26年3ヶ月	・地域の子どもたちに農業体験を通じて、環境学習(地球温暖化問題や生物多様性など)の支援を行うなど、長年にわたり熱心に環境教育活動を行っている。 ・地域に密着した活動を通じて、子どもたちに地域愛を育むとともに、地域社会へ大きく貢献している。
岐阜県立岐阜総合学園高等学校 (校長 後藤 茂伸)	ごみ減量活動 研究開発活動	12年5ヶ月	・荒田川PCB問題を契機に、生徒自らが取り組みはじめた荒田川の清掃活動は、毎年、1・2学年の生徒有志に引き継がれ、保護者や地域の自治会等と一体となり実施されている。 ・また、選択科目である環境テクノロジー系列(分野)の学習では、環境の創造と地域資源の活用について学び、技術を身につけながら、地域社会に貢献する人材育成が行われている。

平成24年度顕彰者

(表彰式：平成24年10月27日)

団体名(個人名)	活動分野	活動期間	対象とした活動の内容(事由)
金華山サポーターズ (会長 川瀬 健一)	環境保全活動	8年8ヶ月	・金華山の自然資源を将来に渡って守っていくために、市民の手で、金華山の登山道の補修や保全、案内活動を行うなど、環境保全活動に率先して取り組んでいる。 ・金華山の貴重な自然の魅力を多くの人に知ってもらうため、自然観察会や環境学習会、あるいは地域の児童・生徒への出前講座なども積極的に行っている。
国際ソロプチミスト岐阜-長良 (会長 市川 妙子)	環境教育活動	20年10ヶ月	・20年以上に渡り、子どもたちの環境に関する教育活動の支援を継続して行っている。 ・特に子どもエコクラブやアースレンジャー子ども会議の企画・運営を毎年継続して支援し、子どもたちの自主的な環境学習や意見交流を促すなど、環境教育に尽力している。
国立大学法人 岐阜大学 (学長 森 秀樹)	環境教育活動 研究開発活動	8年	・創立以来、長年に渡り、各学部において環境に関する教育内容を充実させ、日頃の研究・開発活動の成果も踏まえた公開講座やシンポジウムを行い、市民の環境に関する意識の向上を図っている。 ・地域の企業と共同で、自然資源をエネルギーとして有効に活用する研究から実用化を図るなど、地域との産学官連携事業による研究開発の成果を挙げ、広く地域社会に貢献している。

平成25年度顕彰者

(表彰式：平成25年11月9日)

団体名(個人名)	活動分野	活動期間	対象とした活動の内容(事由)
岐阜市立陽南中学校	環境教育活動	13年5ヶ月	・平成12年度に「総合的な学習の時間」が導入されて以来、総合学習「とびら」において環境分野に関する学習を行っている。 ・生徒が主体となり、地域から課題を見つけて追及していく中で、具体的な実践につなげ、様々な方法で学習成果を学校内外へフィードバックしている。
長森西子ども会育成会	環境教育活動	8年5ヶ月	・長年子ども会のインリーダーを中心に、地域の協力を得て行っている農業体験、環境講座などを通じ、子どもたちの環境配慮の意識や社会性の育成に努めている。 ・子どもたち自身が学んだ知識や経験について発表し、意見交換を通じて環境に対する考えを深める機会を作っている。
和光会グループ	環境保全活動 ごみ減量活動	13年5ヶ月	・長年継続している地域清掃やペットボトルキャップのリサイクルをはじめ、職員の提案を積極的に取り入れ、環境保全やごみ減量活動を実践している。 ・市内全54施設において、地域に根差した活動が定着しており、地域との連携を深めている。

平成26年度顕彰者

(表彰式：平成26年11月23日)

団体名（個人名）	活動分野	活動期間	対象とした活動の内容（事由）
岐阜県立岐阜高等学校	環境保全活動 研究開発活動	14年5ヶ月	・長年に渡り、「太陽の日」活動として、生徒が自主的に学校周辺の清掃活動を行っている。 ・自然科学部では、市の貴重野生動物種であるカスミサンショウウオの保護・保全活動に取り組み、研究成果を市内外に広く、積極的に発信している。
特定非営利活動法人 森と水辺の技術研究会	環境保全活動 環境教育活動	14年4ヶ月	・自然ふれあいセミナーの開催や環境教育ツールの開発等を行うと共に、各種団体の行う環境保全活動の支援および自然環境情報の発信を行っている。 ・岐阜県内外の広域環境保全団体の運営に携わり、「流域のつながり」をテーマに各種団体のネットワーク形成に寄与している。
岐阜スカイウイング37管理組合	研究開発活動	平成24年8月竣工	・JR岐阜駅前で、岐阜シティ・タワー43と対をなす超高層ビルとして、様々な環境配慮を行うと共に、県都の玄関口に相応しい景観形成に配慮した施設設計を行っている。 (1)オール電化住宅、(2)ディスプレイシステム、(3)屋上等緑化、(4)電気自動車用充電スタンド

平成27年度顕彰者

(表彰式：平成27年11月22日)

団体名（個人名）	活動分野	活動期間	対象とした活動の内容（事由）
岐阜市立鷺山小学校	環境教育活動	7年8ヶ月	・学校に隣接する「鷺山」を通して、体系的に環境学習を実施している。鷺山の整備活動は地域住民と一体となって活動を行っている。 ・また、ペットボトルキャップやアルミ缶のリサイクル活動を行い、社会貢献や東北の復興支援を行っている。
大日本土木株式会社	研究開発活動	平成27年6月竣工	・先進的な環境技術を導入し、環境負荷の低減に資する建物設計を行っている。 ダブルスキン、日射追尾ブラインド、ライトシェルフ、タスクアンビエント照明、アンダーフロア空調、地下水利用空調、BEMS など
田中 俊弘	環境保全活動	11年3ヶ月	・「生物多様性保全」という新たな価値観について研究を行い、自然環境保全活動に生物多様性保全の視点を取り入れる大切さを提唱した。市への政策提言やシンポジウムの開催を通して、生物多様性保全に関する取組を推進している。

平成28年度顕彰者

(表彰式：平成28年11月20日)

団体名（個人名）	活動分野	活動期間	対象とした活動の内容（事由）
岐阜市立柳津小学校	環境教育活動	12年4か月	・児童にとって身近な「境川」を自分たちの手で少しでもきれいな川に戻すことができるよう、5年生が環境教育の一環として、「気づき→アクション→発信」の精神を大切に活動している。 ・アルミ缶や牛乳パックの回収を委員会を中心に全校児童で取り組んでいる。
柳津イオンチアーズクラブ	環境教育活動	14年4か月	・イオンチアーズクラブは、小学校1年生から中学校3年生までが活動するクラブで、イオン柳津店を拠点として、地域の日常生活に根ざした環境学習や体験プログラムを行っている。 ・活動内容は壁新聞にまとめて、「アースレンジャー子ども会議」などで発表している。

平成29年度顕彰者

(表彰式：平成29年11月3日)

団体名（個人名）	活動分野	活動期間	対象とした活動の内容（事由）
大洞の里山つくり会	環境保全活動 環境教育活動	7年7か月	・地域で受け継がれてきた里山環境を地域の宝として守り育てるため、地域住民が主体となって里山整備活動や希少な動植物の保全活動を行っている。
岐阜市立青山中学校	環境教育活動	19年3か月	・第1学年の「総合的な学習の時間」において、「環境を守る」というテーマで、様々な環境教育活動を行っている。 琵琶湖周辺での環境学習、市が実施する学習メニューを組み合わせた年間を通した環境教育、ペットボトルキャップ回収
岐阜市立加納中学校生徒会（あな5クラブ）	環境保全活動	18年3か月	・生徒会（あな5クラブ）の発案・呼び掛けにより、「あなたの5分を地域のために」を合言葉に、生徒の自主活動として、登校時や朝学校が始まるまでの時間を使った清掃活動などを行っている。
ESDクオリア	環境保全活動 環境教育活動	8年4か月	・岐阜大学における持続可能な開発のための教育（ESD）活動の中核として、地域の環境保全活動、環境教育活動、岐阜市まるごと環境フェアの関連イベントの企画・運営などを行っている。

平成30年度顕彰者

(表彰式：平成30年11月11日)

団体名(個人名)	活動分野	活動期間	対象とした活動の内容(事由)
岐阜県立岐山高等学校 生物部	環境保全活動 環境教育活動	9年3ヶ月	・外来生物が河川の生態系に与える影響などの研究を行っており、これらの研究成果を学会等で発表するとともに、小中学校で出前講座を実施するなど、地域の生態系に配慮した生物多様性の保全活動を行っている。
特定非営利活動法人 ふれあいの森自然学校	環境保全活動 環境教育活動	7年9ヶ月	散策会や自然観察会など、自然の魅力にふれあう自然体験活動を通し、市民や子どもたちの豊かな自然環境を保全しようとする意識醸成を図っていると同時に、自然にふれあう楽しさを教える指導者の育成も行っている。
吉村 夏子	ごみ減量活動	13年8ヶ月	・家庭から出る生ごみを堆肥化する取り組みを、近隣の方を誘い、自治会活動に発展させるとともに、食材をごみとして捨てない料理の工夫を、学校等の料理教室で積極的に紹介するなど、生ごみ減量に貢献している。

令和元年度顕彰者

(表彰式：令和元年11月10日)

団体名(個人名)	活動分野	活動期間	対象とした活動の内容(事由)
岐阜駅東地区市街地再開発組合	研究開発活動	2019年1月31日 竣工	岐阜イーストライジング24は、JR岐阜駅前で、岐阜シティ・タワー43、岐阜スカイウイング37に続く市街地再開発事業として竣工した。建設において、様々な環境に配慮した施設設計や施工に努め、本市の環境都市形成に大きく貢献した。 (1) 屋上等緑化 (2) 高品質かつ省エネに配慮した設備など
株式会社十六銀行	環境保全活動 ごみ減量活動 環境教育活動	7年3ヶ月	岐阜大学と「環境保全における連携に関する覚書」を締結し、附属小中学校では、エコ活動啓発ポスターを募集し、環境活動の大切さを考えさせ、事業では、第三者評価を得て、環境活動を進めている。 また、長良川清掃や新入行員の環境活動への参加、事業等におけるペーパーレス化など、様々な環境活動を行い、本市の環境保全及びごみ減量活動、環境教育に大きく貢献した。
岐阜市立城西小学校	環境教育活動	48年1ヶ月	1971年の学校創立以来、学校近くの早田川の清掃を、PTAを中心に学校を挙げて毎年行っている。 また、アルミ缶・牛乳パック・雑がみの回収などのリサイクルや岐阜市の「雑がみ講座」を授業に取り入れるなど、子どもの頃からの環境への意識づけを行い、本市の環境教育に大きく貢献した。
精華中学校区五校連絡協議会	環境保全活動 環境教育活動	29年6ヶ月	1990年から毎年、鏡島・市橋地域の小中高校5校と地域が連携し、論田川で草刈やごみ拾いを行うなどの環境保全活動を行っている。 また、論田川の清掃や小学校での水生生物調査を通して、自然環境を保護することの大切さを教え、本市の環境教育に大きく貢献した。

令和2年度顕彰者

(表彰式：令和3年2月17日)

団体名(個人名)	活動分野	活動期間	対象とした活動の内容(事由)
柴田 甫彦	環境保全活動 環境教育活動	18年	岐阜市の最大の環境イベントである岐阜市まるごと環境フェアに長年携わり、市民が環境活動に取り組むきっかけを提供してきた。 また、環境教育や地域での環境活動を通して、市民、特に未来を担う子供たちに環境の大切さを教え、環境を考える人づくりに尽力してきた。

令和3年度顕彰者

(表彰式：令和4年2月17日)

団体名(個人名)	活動分野	活動期間	対象とした活動の内容(事由)
岐阜市立岩野田北小学校	環境教育活動 ごみ減量活動	10年	同小学校の周辺地域で発覚した岐阜市北部地区産業廃棄物不法投棄事業を風化させないよう、同校の児童達に、関係者の講話を聞く機会を設け、また、現場周辺の川の水質検査を行うことで、環境を守ろうとする意識の醸成を図っている。 学校で雑がみなどの回収を図るため、PTAが中心となって収集小屋を作り、学校を挙げて、地域と協力し資源回収を推進している。
増田 實	環境保全活動 環境教育活動	17年	平成16年6月に本市北部の椿洞地区で発覚した大規模な産業廃棄物不法投棄事業に対し、事案解決のため、地域の代表として、本市とともに活動を続け、環境保全に寄与した。 岩野田北小学校に赴き、本事業について児童達へ講話を行うなど、環境教育の推進を図っている。

令和4年度顕彰者

(表彰式：令和5年2月14日)

団体名(個人名)	活動分野	活動期間	対象とした活動の内容(事由)
岐阜市立西郷小学校	環境教育活動	7年	児童たちの環境意識の向上などを目的に地域の美化活動や自生ホテルの保護活動などに、保護者や地域の方々と連携して継続的に取り組まれている。

令和5年度顕彰者

(表彰式：令和5年2月14日)

団体名(個人名)	活動分野	活動期間	対象とした活動の内容(事由)
岐阜市立長良小学校	環境教育活動	10年	河川を主な活動フィールドとした環境教育を発展・充実させ、「森・川・海」の繋がりを、あるいは、水や生命の尊い循環を意識した学習や体験活動を継続的に取り組まれている。